

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果分析と改善方策(宇佐市)

平均正答率 (%) ※大分県・全国は公立の平均正答率

【小学校】

小学校6年生			
	国語	算数	理科
宇佐市	62	62	62
県(公立)	66	64	64
全国(公立)	65.6	63.2	63.3

【中学校】

中学校3年生			
	国語	数学	理科
宇佐市	69	51	49
県(公立)	69	52	49
全国(公立)	69.0	51.4	49.3

1. 教科ごとの結果分析と改善方策

小学校 国語

	全体	学習指導要領の領域等				
		言葉の特徴や 使い方に関する 事項	我が国の言語 文化に関する 事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
宇佐市	62	66.3	80.3	60.7	46.5	61.2
大分県	66	70.0	83.1	65.3	49.1	65.1
全国	65.6	69.0	77.9	66.2	48.5	66.6

△教科全体は、全国平均、県平均を下回っている。

△全領域で県平均を下回っている。

△大問1四「互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる」【話すこと・聞くこと】、大問2(1)「登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える【読むこと】が特にできていない。

改善方策等

大問1四 地域のためにできることについて話し合う（公園の美化）

互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができていない

⇒話し合いの授業では以下の点に留意して指導する。

① 話し合いを始める段階で、話し合いの「目的」と「方向性」を検討すること。

※目的：公園をきれいにするため自分たちができることを考える

方向性：考えを広げるために話し合う など

② 話し合いの展開や内容を踏まえ、互いの意見を整理すること。

③ 様々な視点から検討して自分の考えをまとめること。

※①話し合いの目的や方向性についてふれている児童の発言を取り上げ評価すると効果的。

大問2(1) 物語を読んで、推薦する（那須田淳「銀色の幻想」）

「ぼく」が「模型の宇宙船を抱きしめた」ときの気持ちを捉えることができていない。

⇒物語の一部分だけを取り上げて登場人物の相互関係について考えるのではなく、物語全体を通して相互関係について描かれている複数の描写に着目しながら読むことができるよう指導する。

例) 物語の全文を拡大印刷して掲示する、人物相関図のワークシートを作成配布する、など。

※登場人物の行動の背景には、その行動に至るまでの気持ちがある場合が多い。そうした登場人物の気持ちを、行動や会話、地の文などの叙述を基に捉えていくことが求められる。

小学校 算数

	全体	学習指導要領の領域			
		数と計算	図形	変化と関係	データの活用
宇佐市	62	69.1	61.1	51.3	67.3
大分県	64	70.7	64.4	51.4	68.8
全国	63.2	69.8	64.0	51.3	68.7

△教科全体は、全国平均、県平均を下回っている。

△領域別では、全領域で県平均を下回っている。特に図形領域が低い傾向にある。

○大問1(3)「カップケーキ7個分の値段を、 $1470 \div 3$ で求めることができる理由を記述できる」(A数と計算)、大問2(1)「果汁が22.5%含まれている飲み物の量を基にしたときの果汁の量の割合を分数で表す」(C変化と関係)はよくできている。

△大問1(4)「 85×21 の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ」(A数と計算)、大問2(3)「数値が変わっても割合は変わらないことを理解している」(C変化と関係)ができていない。

改善方策等

大問1(4) 85×21 の答えが1470よりも必ず大きくなることを判断するための処理の仕方を選ぶ(目的に応じて数量の関係に着目し、数の処理の仕方を考察すること: 買い物)

見積もりの目的に合わせ「切り上げ」「切り捨て」「四捨五入」を選択できていない。

⇒授業では、見積もりの場面設定を大切にし、「切り上げ」「切り捨て」「四捨五入」の処理のよさを体感できるようにしたい。例えば「もらった1000円札1枚をもって買い物に来たA君」が複数の品物を買うには、「切り上げ」「切り捨て」「四捨五入」のどの見積もりをすると確実に1000円で買うことができるのかを話し合う活動を仕組む。概数にして見積もる際には、概数にして計算した結果と、実際に計算した結果との大小関係について話し合うとよい。

大問2(3) 果汁が含まれている飲み物の量を $1/2$ にしたときの果汁の割合について正しいものを選ぶ(二つの数量の関係について考察すること: 果汁の割合)

量が変わっても割合は変わらないことを理解していない。

⇒果汁のように色の濃さが目で見て明らかにわかるような実物(例えば色粉を使った色水)を用意し、実際に教師が色水を注ぎ分けても色の濃さが変わらないことを児童が視覚的に理解できるような活動を仕組む。ICTを活用することも含め、視覚的に示すことで児童の理解を深めたい。

小学校 理科

	全体	学習指導要領の領域			
		「エネルギー」 を柱とする領域	「粒子」を柱と する領域	「生命」を柱と する領域	「地球」を柱と する領域
宇佐市	62	49.4	61.2	72.8	65.6
大分県	64	51.9	61.6	73.9	66.9
全国	63.3	51.6	60.4	75.0	64.6

△教科全体は、全国平均、県平均を下回っている。

○「粒子」「地球」を柱とする領域は、全国平均を上回っている。

△「エネルギー」「生命」を柱とする領域は、全国平均を下回っている。

○大問1(3)「昆虫の体のつくりを理解している」(C生命)、大問2(1)「メスシリンダーという器具を理解している」(B粒子)はよくできている。

△大問1(5)「観察などで得た結果を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる」(C生命)、大問3(2)「問題に対するまとめを導き出すことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している」(Aエネルギー)ができていない。

改善方策等

大問1(5) 育ち方と主な食べ物の二次元の表から気づいたことを基に、昆虫の食べ物に関する問題を見いだして選ぶ(生命に関する問題 自然の事物・現象を気づきの視点で分析・解釈)
差異点や共通点を基に自分の考えをもつことができていない。

⇒主に差異点や共通点を基に、問題を見い出す場面を設定することが大切。

例えば、モンシロチョウを飼育しながら、「モンシロチョウはどのように育つのか」という問題を解決した後、「他の昆虫はどのように育つのか」や「他の昆虫にも卵やさなぎのときがあるのか」といった声から、「昆虫はどのように育つのだろうか」という問題を見い出す学習活動が考えられる。

大問3(2) 実験の結果から、問題の解決に必要な情報が取り出しやすく整理された記録を選ぶ(エネルギーに関する問題 適切な記録)

問題を解決するのに必要な記録内容の検討や確認ができていない。

⇒問題を的確に把握し、何を記録する必要があるかについて検討する場面を設定することが大切である。

例えば、「鏡ではね返した日光を重ねるほど、的の温度は高くなるのだろうか」という問題を解決する際に、結果の見通しについて話し合い、必要な記録内容を明らかにする学習活動が考えられる。

中学校 国語

	全体	学習指導要領の領域等					
		言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
宇佐市	69	71.5	51.2	72.5	61.9	51.2	66.2
大分県	69	72.5	47.9	70.6	63.7	47.9	67.5
全国	69.0	72.2	46.5	70.2	63.9	46.5	67.9

○教科全体は、全国平均、県平均と同程度。

○「情報の扱い方」「伝統的な言語文化と国語の特質」「書くこと」の領域は、県平均、全国平均を上回っている。

△「言葉の特徴や使い方」「話すこと・聞くこと」の領域は、全国平均、県平均を下回っている。

○大問2ー「助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使う」（1言葉の特徴や使い方）、大問2三「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」（2情報の扱い方、B書くこと）は、よくできている。

△大問1三「自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す」（1言葉の特徴や使い方、A話すこと聞くこと）、大問3ー「表現の技法について理解する」（1言葉の特徴や使い方）ができていない。

改善方策等

大問1三 スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く（スピーチをする「最近気になったこと」）

聞き手に応じた語句を選択し、話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、言葉遣いなどに注意して表現を工夫することができていない。

⇒実際に声に出しながら工夫を考えたり、効果を確認したりすることが重要である。

例えば、ICT 機器を活用してスピーチの様子を動画で記録し、話し方を振り返ったり、工夫したことの効果を確認したりなどの学習活動が考えられる。その際、聞き手の興味・関心、情報量などを考慮しながら話す内容や話し方を検討したり、なぜそのように表現を工夫したのか、その意図を明確にして工夫したことの効果を確認したりする場面を設定することも考えられる。

大問3ー 「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する。（文学的な文章を読む「都会のピーチ」）

「比喩」表現の技法について理解できていない。

⇒表現の効果（比喩、反復、倒置、体言止め等）については、表現が、文章の内容を伝えたり印象付けたりする上で、どのように働いているかを考えることが重要である。

描写の仕方や表現の技法などに着目し、「比喩」、「反復」、「倒置」、「体言止め」等の表現の技法をその意味や用法と結び付けて理解し、話や文章の中で使うことが必要である。また、表現の技法が用いられている文を、表現の技法を使わない文に書き換え、両者を比較することを通して、表現の技法の効果を確認する学習活動などが考えられる。

中学校 数学

	全体	学習指導要領の領域			
		数と式	図形	関数	データの活用
宇佐市	51	61.4	38.4	42.6	54.0
大分県	52	60.9	40.9	41.9	56.6
全国	51.4	57.4	43.6	43.6	57.1

△教科全体では、全国平均と同程度であるが、県平均を下回っている。

○領域別では、「数と式」が全国平均、県平均を上回っている。

△領域別「図形」「関数」「データの活用」は、全国平均を下回っている。特に「図形」の正答率が低い。

○大問 1「自然数を素数の積で表すことができる」(A数と式)は全国平均に比べてかなり高い。また、他の「知識・技能」に関する問題はよくできている。

△大問7(1)「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」(Dデータの活用)、大問9(1)証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している(B図形)は、できていない。

改善方策等

大問7(1) コマ回し大会で使用するコマをヒストグラムの特徴を基に選び、選んだ理由を説明する
(データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること：コマ回し)

データ分布の傾向を読み取り判断し、その理由を数学的な表現を用いて的確に説明することができていない。

⇒「自分ならどちらを選ぶか」を話し合う活動を取り入れる。今回の問題では、二つのヒストグラムの特徴を比較し、それぞれの分布の様子を読み取った上で、コマを選ぶ根拠を、最大値、最小値、範囲、累積度数などといった指標を用いて記述できるようにすることが大切となる。例えば、コマAを選ぶことの根拠として「最大値が大きいから」といった生徒の表現を取り上げ、最大値はそれぞれのヒストグラムをどのようにみることから分かるのかということについて確認する場面を設定することが大切である。

大問9(1) 証明で用いられる三角形の合同条件を書く

(見いだした図形の性質を、与えられた条件を基に考察すること：四角形と三角形)

場面にあった三角形の合同条件を書くことができていない。

⇒授業では、証明を読み、当てはまる三角形の合同条件を確認するとともに、その合同条件を成り立たせる辺や角の関係を図と対応させて捉える活動を取り入れることが考えられる。その際、△ABEと△CFBを抜き出した図を基に、対応する辺や角を確認する場面を設定することが考えられる。

中学校 理科

	全体	学習指導要領の領域			
		「エネルギー」 を柱とする領域	「粒子」を柱と する領域	「生命」を柱と する領域	「地球」を柱と する領域
宇佐市	49	41.6	51.5	56.3	44.4
大分県	49	41.8	52.5	56.7	44.5
全 国	49.3	41.9	50.9	57.9	44.3

○教科全体は、全国平均、県平均と同程度である。

△領域別では、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」は全国平均、県平均と同程度または下回っている。

○大問1（2）「モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる」（Aエネルギー）、大問2（2）「継続的に記録した空の様子を撮影した画像と百葉箱の観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈できるかどうかを見る」（D地球）はよくできている。

△大問5（1）「力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつりあう力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる」（Aエネルギー）は、大問7（2）「実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善できるかどうかをみる」（B粒子）はできていない。

改善方策等

大問5（1） おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する（押して使うばねを科学的に探究する：「エネルギー」を柱とする領域）

物体に働く重力とつり合う力を矢印で表すことができない。

⇒物体に力を働かせる実験を行い、一つの物体に二つの力が働いていることに気付くようにし、それらの力の大きさや向きを矢印で表して、つり合いの関係を説明する学習場面を設定することが考えられる。

※教室の風景をタブレットで撮影してロイロノートに取り込み、物体に働く力やつり合う力を矢印タッチペンで書きこめば、生徒同士の問題の出し合いや教師への提出が容易にでき、ICT機器の強みを発揮できる。

大問7（2） 実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善できるかどうかをみる（水の状態変を科学的に探究する「粒子」を柱とする領域）

探求の過程や方法を振り返り、実験の計画や操作の妥当性について検討、改善することができていない

⇒話し合い活動を通して、実験の計画を再検討して改善する学習場面を設定する。条件の制御が不十分な実験をあらかじめ提示し、検討して改善する場面設定をすることも考えられる。

【小学校 児童質問紙 結果】

◎全国を3ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値（当てはまる+どちらかといえば当てはまる）

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。	90.8	87.2	88.3
2	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	76.5	72.5	74.2
3	自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか。	68.7	65.1	67.0
4	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか。（習い事の先生は除く）	33.9	30.6	32.2
5	今住んでいる地域の行事に参加していますか。	58.4	52.7	53.4
6	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	57.2	51.3	51.2
7	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。（週3回以上の回答）	63.4	58.2	50.8
8	学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。（週3回以上の回答）	50.6	43.9	38.8
9	学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。（週3回以上の回答）	32.5	22.5	21.0
10	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。（週3回以上の回答）	32.5	21.7	20.5
11	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	81.4	78.2	79.4
12	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	77.4	73.5	75.2
13	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。	78.9	73.8	75.6
14	国語の勉強は好きですか。	65.8	59.2	63.2
15	国語の授業の内容はよく分かりますか。	88.1	84.0	88.0
16	算数の勉強は好きですか。	70.0	62.5	65.2
17	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。	75.1	69.3	69.8
18	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	79.9	76.8	75.9

全国を3ポイント以上下回る項目 ※数値は肯定値（当てはまる+どちらかといえば当てはまる）

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	64.6	71.5	70.7
2	自分には、よいところがあると思いますか。	73.2	79.3	78.8
3	新聞を読んでいますか。	9.2	13.8	10.0
4	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。	62.0	65.4	60.0
5	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	69.7	72.7	69.9
6	理科の勉強は好きですか。	75.8	79.7	77.2
7	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。	72.9	78.0	74.6
8	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか。	80.1	84.9	83.4

その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

質問	肯定値（宇佐市・全国・大分県）
学校の授業以外に平日1日当たり家でどれくらい勉強をしますか。（塾等含む）	2時間以上 18.4%(全国 25.1% 県 21.3%)
平日1日当たりどれくらい読書をしますか。（教科書、漫画等除く）	30分以上 38.1%(全国 36.4% 県 34.8%)
平日1日当たりどれくらいテレビゲームをしますか。（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマホゲームを含む）	3時間以上 31.4%(全国 30.7% 県 31.2%)
平日1日当たりどれくらい携帯電話やスマホで SNS や動画視聴などをしますか。	3時間以上 23.2%(全国 19.7% 県 20.3%)

【中学校 生徒質問紙 結果】

◎全国を3ポイント以上上回る項目※数値は肯定値（当てはまる+どちらかといえば当てはまる）

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	今住んでいる地域の行事に参加していますか。	43.5	40.0	41.8
2	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	47.4	40.7	42.8
3	学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。	16.6	12.8	13.5
4	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。	19.0	15.0	15.8
5	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	79.8	76.8	78.3
6	国語の勉強は好きですか。	66.3	61.9	64.8

▲全国を3ポイント以上下回る項目 数値は肯定値

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	60.1	69.5	67.5
2	自分には、よいところがあると思いますか。	68.1	78.5	77.4
3	将来の夢や目標を持っていますか。	62.7	67.3	68.5
4	人が困っているときは、進んで助けていますか。	84.9	88.4	88.4
5	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	63.0	66.6	66.6
6	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。（学校の授業の予習や復習を含む）	51.7	58.5	57.1
7	新聞を読んでいますか。	5.8	9.4	7.5
8	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。	58.9	63.3	56.9
9	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。	74.0	78.7	77.9
10	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。	69.8	74.7	72.3
11	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	66.1	72.1	71.3
12	数学の授業の内容はよく分かりますか。	72.1	76.2	71.3

13	数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。	75.5	79.6	77.2
14	理科の勉強は好きですか。	61.6	66.4	70.1
15	理科の授業の内容はよく分かりますか。	67.5	75.2	75.7
16	理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。	45.4	52.7	53.5
17	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いませんか。	16.3	22.1	21.5
18	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。	56.3	64.5	62.1
19	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか。	69.2	78.9	72.9
20	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか。	58.9	68.1	65.8

その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

質問	肯定値（宇佐市・全国・大分県）
学校の授業時間以外に、平日1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾等を含む）	2時間以上 26.9%（全国 35.2% 県 41.8%）
平日1日当たりどれくらいテレビゲームをしますか。（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマホゲームを含む）	3時間以上 29.6%（全国 29.8% 県 24.1%）
平日1日当たりどれくらい携帯電話やスマホでSNSや動画視聴などをしますか。	3時間以上 27.9%（全国 29.5% 県 24.2%）

令和4年度 全国学力・学習状況調査(学校質問紙)

1. 調査結果の概要(肯定的回答が特に多かった項目…○ 少なかった項目…△)

小・中学校：学校質問紙

- 児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いている。
- 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えている。
- 学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する取組を行っている。
- 児童生徒の姿や地域の現状に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。
- 学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を合意形成できるような指導を行っている。
- 学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童生徒が意思決定できるような指導を行っている。
- 児童生徒のよい点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしている。
- 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている。
- 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加している。
- 児童が自分で調べる場面、まとめ、表現・発表する場面では、ICT機器を活用できている。(小)
- ICTを活用した校務の校率化(事務の軽減)に取り組んでいる。
- △理科の指導として、自然の事物・現象から問題を見いだすことができる指導を行えていない。(小中)
- △理科の指導として、生徒が観察や実験の結果を整理し考察する指導を行えていない。(中)

2. 学校質問紙調査の結果をふまえて(今後の課題)

- ◇児童生徒のよい点や可能性を見つけ伸ばすなど、一人一人を大切にしたい指導を今後とも推進していく。
- ◇ICTを利用した授業や活動が増えてきているが、学習のねらいにせまるためのより効果的な活用ができるよう、取組を進める。
- ◇コロナウイルス感染症対策を十分にとった上で、観察や実験など体験的な学習や話し合い活動を進めていく。